

あすなひろし原画展ヒロシマ

原爆投下後の人々の苦しみと悲しみの中で少年時代を過ごした、孤高の天才叙情派マンガ家あすなひろし
没後 13 年、ヒロシマに捧げる

漫画家あすなひろしは1961年のデビュー以降、当時の印刷技術と雑誌の紙質では再現不可能とまで言われた繊細な描画と多彩な作風で多くのファンを獲得し、また、その作画テクニックに加えて卓越したストーリー性は、同時代の漫画家たちにも強い影響を与えました。

一般には寡作というイメージが強いあすなひろしですが、実際には生涯で発表した作品数は400作を超え、約1万ページ以上という膨大なもので活動時期も長きに渡っているため、その仕事の全貌を把握することは非常に困難でした。

2010年に東京（ヤスダアートリンク）で開催したあすなひろし初の原画展において、彼の仕事を「少女漫画群」「少年漫画群」「青年漫画群」「名作漫画群」の4つのカテゴリーに分類し、原画約200点と当時の貴重な資料の展示によって、あすなひろしの全貌を少なからずご紹介いたしました。

このたび広島での原画展は、この4つのカテゴリーを再構成し展示を行います。あすなひろしが日本の漫画界に残した活動の一端を少しでもご来場いただいた皆様にお伝えできればと心より願っております。

みなもと太郎先生を招いてのトークライブ（参加無料）

4月27日（日）14：00～15：00 開催決定！ 会場：旧日本銀行広島支店1階多目的スペース

※ 進行状況により延長の可能性あり（～15：30）

みなもと太郎（漫画家）、南一平（漫画家）、なかはらかぜ（漫画家/イラストレーター）、村上たかし（漫画家）
吉田宏（前広島市まんが図書館主任） ※トークライブメンバーは都合により変更となる可能性があります

豪華メンバー
どうぞ期待！

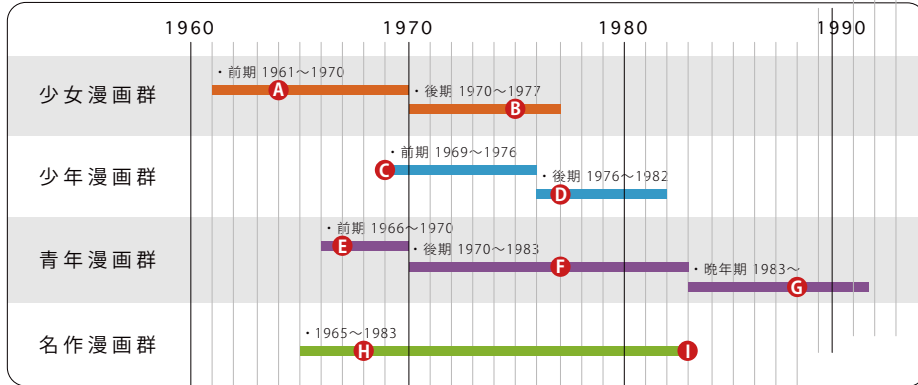
漫画家を
目指すなら
必見！！

元あすなひろしアシスタント植松和史氏によるギャラリートーク（参加無料）

4月29日（火）14：00～15：00 開催決定！ 会場：旧日本銀行広島支店地下金庫室展示スペース

※ 進行状況により延長の可能性あり（～15：30） 植松和史（元あすなひろしアシスタント/広島県獣医師）

あすなひろし作品制作年表



- A 「ながれ星ひとつ」 なかよし 1964年8月号掲載（掲載名「おどり子人形」）
- B 「らくがき」 JOTOMO1975年3月号掲載（ポエムコミックシリーズより）
- C 「おお！大戦争」 週刊ぼくらマガジン 1969年7月号掲載（全3回のその1）
- D 「風を見た日」 週刊少年チャンピオン1977年6・7月号掲載（「青い空に、白い雲がかけてった」シリーズ第2話）
- E 「ジョージ・ワシントン撃った男」 週刊漫画アクション 1967年11月2日号掲載
- F 「童話 ソクラテスの殺人」 ビックコミック・オリジナル1977年5月20日号掲載（「哀しい人々」シリーズより）
- G 「林檎も匂わない」 コミックトム 1988年8月号掲載
- H 「リチャード三世」 週刊漫画アクション 1968年5月20日号掲載
- I 「セロ弾きのゴーシュ」 コミックトム 1983年5月号掲載



あすなひろしプロフィール



1941年1月20日東京生まれ 千葉、徳島を経て6歳から広島に住み
修道高等学校卒業 本籍は宮崎県西臼杵郡三ヶ所
東宝映画宣伝部、商業デザインの会社を経て、
1961年少女クラブ冬の号に「まぼろしの騎士」でデビュー
「とうちゃんのかわいいおヨメさん」と「走れ！ポロ」で1972年第
18回小学館漫画賞を受賞
2001年3月肺がんのため他界（享年60）
2004年「NHK BSマンガ夜話第31弾」で取り上げられる
2010年ヤスダアートリンク（東京都）にて初の原画展を開催



旧日本銀行広島支店金庫室
広島市中区袋町 5-21（市内電車～袋町電停下車）